

## 思い出の詰まった、永遠の輝き

亡しよくなった大切な人を偲しのんで、遺灰からダイヤモンド

を作るというサービスが人気を集めている。この特殊なサービスを提供しているスイスのアルゴダンザ社には、毎月、世界中からかなりの数の注文が舞い込んでいるという。死者への配慮から作業過程の見学はタブーとされているが、

同社の研究室では15台の機械が24時間態勢で稼働している。

人ひとりの遺灰は一般に2・5〜3kgだが、ダイヤモンドを作るのに必要な遺灰はわずか500gほどだ。そこから炭素以外の不純物を分離し、1700℃の高温高压下で黒鉛に変化させる。さらに高温のなかで高い圧力をかけ続けることでダイヤモンドができるという。

形は要望に応じて研磨・カットできるが、いちばん人気があるのはハート形だ。また、色は遺灰の成分によってさまざまで、故人の個性が反映されているかのようでもある。

同社の担当者は、お墓のケアもままならない現代人が、故人を偲ぶ方法としてますます需要は高まるだろう、と分析している。



価格は2800ユーロ（約47万円）から